

国立感染症研究所によるデング熱、チクングニア熱、ジカ熱の 診療ガイドラインがアップデートされました

デング熱、チクングニア熱、ジカ熱は中南米、南太平洋地域、アフリカ等で多発しております。いずれもネッタイシマカおよびヒトスジシマカによって媒介される点が共通しています。

今年8月～9月にブラジル・リオデジャネイロで開催されるオリンピック、パラリンピックには、選手団や関係者の他に1万人前後の日本人が現地を訪問すると推定されています。現地は冬季に相当しますが、一日の最低気温は18～19度、最高気温は25～26度であり、蚊が活動しています。

流行地からの帰国者または渡航者が発熱、発疹などの症状を呈した場合の診断、マネジメントのために、国立感染症研究所が「蚊媒介感染症の診療ガイドライン」を公表していますが、今年7月14日に改定され第3版が作成されましたので、診療の一助になればと思い、ここに掲載いたします。ご利用ください。

リンク先

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/2358-disease-based/sa/zika-fever/6590-zika-medical-g3.html>

診断が遅れ、国内で二次感染がおこらないように、ご協力をお願い致します。

平成28年7月20日更新

一般社団法人日本病院会 感染症対策委員会委員長

木村 哲